

## 平成28年度苧田町社会福祉協議会事業報告書

社会福祉法の改正による社会福祉法人制度の見直しにより、組織体制の強化や定款変更など規程類の整備をすすめました。今後はガバナンスの強化や透明性の確保など、より一層の自覚をもった対応が求められることとなります。それに付随して社会福祉法人に責務化された地域における公益的な取組については、町内の社会福祉法人が連携し効果的に展開できるよう協議をすすめ、次年度における組織化の足掛かりにしました。

介護保険法の改正に伴う「地域づくり」の重点化としてすすめられる「生活支援体制整備事業」を町から受託し、新たに生活支援コーディネーターを雇用しました。事業のベース会議である研究会の中で推進方策等の協議をすすめ、地域住民が主体的に取り組む「支え合い」についてフォーラムや学習会などを通じて啓発に努めました。それと並行して町との協力で「総合相談窓口設置」に関する検討会議を有識者を交えて実施してきました。地域住民が抱える困りごとが潜在化しないよう、相談支援体制の構築は身近な地域から図られることが重要であることが確認され、今後は具体的な計画化に向けて検討を続けていきます。

また、本会が十数年前から取り組んできた「認知症高齢者等徘徊 SOS ネットワーク活動」が町主幹に移行し、警察とも協議を重ねて新たな形でスタートしました。インターネットやメール機能を活用した情報共有・提供により、これまで以上に効果的な活動が期待され、本会としてはネットワークの参画者として積極的に協力していきます。

くすの木作業所における仲間の工賃アップを目指す菓子工房「LAPAN」は、製造から販売までのサイクルに一定の安定化が図られ、地域への認知もすすんできました。しかし、未だ工賃アップの実績には至らず、今後はさらに製造販売を質量ともに拡大する必要があります。また他の作業も含めて利用者への職業指導・生活支援には、より高度な援助が必要とされ、スタッフの資質向上を前提として、創意工夫をもった取り組みが課題となっています。

さらに、これまで以上の地域からの要望と期待に応えるためには、事務局の強化が必要であるとして、特に正規職員のスキルアップを図るべく、その業務分担の見直しを実施しました。社協職員は住民と共に地域課題に取り組むことが重要であることから、全員が小地域福祉活動を担当することをはじめ、地域支援とプラン作成などの個別支援を共通業務としました。

以下、平成28年度の各事業ごとに報告いたします。

### 1. コミュニティワークの推進

小地域福祉活動推進地区である集区と長畑区の見守りモデル地区指定が最終年となりました。このモデル地区での活動を通し、あえて見守りと言わずにご近所でさりげなく意識し合う関係作りや世代間交流・包括支援センターとの連携強化・気軽に立ち寄れる居場所作りの大切さがみえてきました。また、地域づくりセミナーや包括ケアシステムを知る学習会を開催することで、助け合いの意識作りの向上が図れました。

(1) 小地域福祉活動の推進

新規推進地区を2地区増やすことが出来ました。見守り会議に重点をおいていましたが職員体制が整わず多くの地区での実施ははできませんでした。また各推進地区との懇談会や学習会を実施することで、地域の強みや課題・助け合いの形が見えてきました。

①見守り会議の実施状況

地域の中に孤立しがちな心配な人やちょっと気になる人がいないかの把握に努めました。

	地区名	実施日		地区名	実施日
1	葛川	平成28年5月17日	4	桜ヶ丘	平成29年2月17日
2	百合丘	平成28年8月23日	5	百合丘	平成29年2月22日
3	城南	平成28年10月7日			

②推進委員証・福祉委員証の配布

訪問活動時等に活用してもらう事を目的に配布しました。

期日	地区数	推進委員・福祉委員数
平成28年度	35	692

③見守りネットワーク会議

期日	委員の参加	内容
7月25日	14	①見守りの手引き②見守り会議③見守り協定④荇田町徘徊SOSネットワーク活動等について

④見守り活動推進モデル地区の指定及び成果

指定地区	指定期間	成果
集区	平成26年10月1日～平成29年3月31日	①赤ちゃんからお年寄りまで毎週気軽に集えるカフェを開催し多くの参加者を得ることが出来ました。 ②推進委員によるさりげない見守りや、サロン参加者が作成した手渡し作品による見守り活動、地域包括支援センターとの顔の見える関係作り等により、見守り活動の強化に取り組むことが出来ました。
長畑区		①盆踊り・餅つき・ミニ門松の配布を通して三世代交流によるコミュニティーの強化が出来ました。 ②支え・支えられ合い活動の推進により、「見守り」

		<p>という言葉はあえて使わず、お互いがお互いを意識することで気かけあえる住民意識の向上に努めました。</p> <p>③訪問カードの活用や見守り会議を開催することにより、高齢者以外の福祉的課題も発見できるようになってきました。</p>
--	--	---

⑤社協だよりにおいて各地区の取り組み紹介

各推進地区の取り組み情報を提供できるよう、毎月3地区ずつ掲載しています。

	掲載地区				掲載地区		
4月	法正寺	近衛ヶ丘	港	10月	上町	百合丘	鋤崎
5月	二崎	白石	若久	11月	松山	新津	与原下
6月	葛川	南原	幸町	12月	中町	尾倉	二崎
7月	提	馬場	片島	1・2月 合併号	全35地区掲載		
8月	松原	緑ヶ丘	岡崎				
9月	浜町	白石	葛川	3月	幸町	馬場	与原上

⑥新規推進地区

新たに取り組み始めた地区は次の2地区です。

平成28年度	中町区・幸町区
--------	---------

⑦未実施地区へのアプローチ（推進の協力依頼）

下記地区へ活動実施をアプローチしてきました。開始までには至りませんが、継続してアプローチしていきます。

平成28年度	雨窪区・本町・山口区・稲光・白石3
--------	-------------------

⑧小地域福祉活動推進地区との懇談会

全推進地区に出向き、各地区の福祉問題の把握に努めました。

	期 日	地区名		期 日	地区名
1	1月15日(日) 11:00～	法正寺	16	2月13日(月) 15:00～	港
2	1月15日(日) 14:00～	緑ヶ丘	17	2月14日(火) 13:00～	新津
3	1月19日(木) 10:00～	松原	18	2月15日(水) 9:30～	白石
4	1月19日(木) 13:30～	集	19	2月15日(水) 13:30～	葛川
5	1月20日(金) 12:30～	桜ヶ丘	20	2月16日(木) 13:00～	若久
6	1月20日(金) 15:00～	片島	21	2月17日(金) 12:00～	与原下

7	1月23日(月) 13:00～	岡崎	22	2月18日(土) 11:10～	与原上
8	1月27日(金) 11:00～	鋤崎	23	2月20日(月) 10:00～	長畑
9	1月28日(土) 14:00～	谷	24	2月20日(月) 12:00～	城南
10	2月 1日(水) 10:00～	尾倉	25	2月21日(火) 11:00～	提
11	2月 2日(木) 10:00～	松山	26	2月22日(水) 13:00～	百合丘
12	2月 6日(月) 13:00～	西町	27	2月23日(木) 10:00～	猪熊
13	2月 8日(水) 13:00～	幸町	28	2月28日(火) 13:00～	南原
14	2月10日(金) 11:00～	中町	29	3月 3日(金) 16:00～	二崎
15	2月13日(月) 13:30～	今古賀			

### ⑨地域包括ケアシステムを知る学習会

推進地区のふれあいきいきサロンに出向き学習会を開催しました。

	期 日	地区名		期 日	地区名
1	7月15日(金) 10:00～	緑ヶ丘	12	2月13日(月) 11:00～	西町
2	12月14日(水) 14:00～	長畑	13	2月14日(火) 10:00～	新津
3	12月21日(水) 11:00～	百合丘	14	2月17日(金) 10:00～	桜ヶ丘
4	1月18日(水) 10:00～	白石	15	2月18日(土) 11:10～	与原上
5	1月19日(木) 13:30～	若久	16	2月21日(火) 10:00～	提
6	1月21日(土) 11:00～	上町	17	2月24日(金) 11:00～	集
7	1月21日(土) 12:30～	谷	18	3月 7日(火) 10:00～	小波瀬
8	1月25日(水) 13:30～	葛川	19	3月 9日(木) 13:00～	松山
9	1月26日(木) 10:00～	若久2	20	3月11日(土) 11:00～	南原
10	2月 3日(金) 13:00～	二崎	21	3月24日(金) 11:00～	松原
11	2月 4日(土) 18:00～	緑ヶ丘	22		

### ⑩小地域福祉活動推進地区連絡会

各地区との懇談会で出された意見を元に、29年度の活動の考え方について説明しました。

また、見守りモデル地区である集区・長畑区より、これまでのモデル地区としての取り組みを発表していただきました。

期 日	場 所	地区数	内 容
3月13日	中央公民館	31	29年度の活動の考え方・情報交換

### ⑪みんなが主役の元気な高齢者セミナー（県社協主催）への参加

各推進地区の情報交換の場になっています。また、他市町の取り組みを知る機会にもなっています。

す。

期 日	場 所	参加者	内 容
2月23日	福岡国際会議場	27	講演「これからの地域づくり」 講師：特定非営利活動法人日本NPOセンター 常務理事 田 尻 佳 史 氏

### (3) 福祉教育の推進

#### ①地域づくりセミナー

毎年開催している地域福祉セミナーを、本年は苅田町協働のまちづくり課と共催し開催しました。

期日	場所	参加者	内容
9月10日	西日本工業大学 A棟101大講義室	150	講演会「地域の絆が孤立を包む」 講師：豊中市社協 勝部麗子氏

#### ②福祉入門教室「地域支え合い助け合い研修会」

京築地区社協として、京築地区の住民を対象とするシンポジウムを開催しました。

1	平成28年 5月28日(土)	「命の尊厳」 ～家族のきずな 地域のきず な 子どもは未来の宝～	元慈恵病院 看護部長 田尻 由貴子氏	37
2	平成28年7月 9日(土)	「子どもの貧困」 ～私たちにできること～	全国児童家庭支援センター 協議会 副会長 坂口 明夫氏	51
3	平成28年9月 3日(土)	「青少年が抱える問題行動の 背景」	飯塚少年サポートセンター 少年育成指導官	33
4	平成28年10 月1日(土)	「地域で支える高齢者、認知 症」	ハピネス 代表 上村 尚之氏	44

#### ③認知症サポーター養成講座

認知症への理解を促進するため各地区で開催しました。

	期日	受講者	参加者
1	7月23日	浜町区小地域福祉活動	27
2	10月25日	苅田中学校1年生	168
3	11月14日	ハッピーハンド	24
4	11月26日	施設職員向け学習会	48

### (4) 障害者スポーツ大会の実施

障害者の社会参加促進や健康づくりを目的に行う

期日	場所	参加者	内 容
10月10日	総合体育館	148	車イスダンス・4つの競技

(5) 障害者団体連絡会の活動支援

障害者団体連絡会で、当事者団体が内容を決めるように働きかけました。

	開催日	会議・行事名	内 容
1	7月 6日	連絡会①	年間活動計画づくり
2	8月24日	連絡会②	スポレク・要望書・懇談会
3	9月29日	連絡会③	要望書作成
4	11月11日	懇談会	行政との懇談会
5	11月10日	啓発活動	福祉大会にて広宣物の配布
6	11月15日	連絡会⑤	学習会打ち合わせ
7	12月10日	啓発活動	人権講演会にて広宣物の配布
8	1月27日	連絡会⑥	学習会の打ち合わせ
9	2月 5日	ココロンパーティー	障害の啓発目的の交流会
10	3月 6日	学習会	福祉避難所について

(6) SOS徘徊ネットワーク活動の推進

主管が苅田町役場に移り、民生委員児童委員へ連絡網での連絡及び SOS メール協力員へのメール配信を苅田町社協が担う事となりました。

移行による登録変更のため該当先を訪問し、必要に応じて小地域福祉活動や民生委員等につなぎました。

SOS 登録者数	52 名	メール協力員数	113 名
----------	------	---------	-------

(7) 子育て支援の推進

項目	回数	参加者数	内容
子育てママ支援隊 「にじいろ」	1 2 回	延べ 8 0 人	親子で外遊び(プレーパーク)他

(8) 障害者の趣味・余暇活動の促進

項目	回数	参加者数	内容
切手貼り絵サークル	2回	延べ 4人	切手貼り絵・ぬり絵
ふれあいウォーキング他	7回	延べ 50人	ウォーキング・缶拾い

(9) 介護家族支援元気回復事業「元気回復サロン」の実施

日頃の介護疲れを癒しリフレッシュする事を目的に開催しました。

月日	場所	参加数	行事内容
4月27日	大分市四日市町	11名	日帰りリフレッシュ旅行
5月18日	パンジープラザ	11名	介護保険サービスの説明
6月22日	パンジープラザ	13名	介護用品説明
7月20日	北九州市	10名	福祉施設見学
8月24日	パンジープラザ	11名	元看護師のぶっちゃけ話
9月21日	北九州市	10名	日帰りリフレッシュ旅行
10月19日	パンジープラザ	8名	健康体操でリフレッシュ
11月16日	パンジープラザ	10名	笑いヨガ
12月21日	田川市	9名	日帰り温泉旅行
1月25日	パンジープラザ	16名	新年の集い
2月15日	パンジープラザ	8名	29年度の内容について・交流会
3月1日	豊前市	10名	日帰りリフレッシュ旅行

(10) 有償サービスの仕組みと居場所づくりの研究と実施

有償サービスおたすけ“虹の会”活動がスムーズに行くように、学習会や他市町村の有償サービスグループとの交流などを進めました。

①他グループとの交流、先進地視察、活動発表等

日時	場所	内容
9月9日	パンジープラザ	有償ボランティア「ミモザの会」との交流
10月22日	パンジープラザ	介護保険について学習会
11月9日	パンジープラザ	宗像市社協赤間地区福祉会との交流
11月22日	桂川町	桂川町社協 有償サービスとの交流

②有償サービス役員会議

毎月1回開催

有償サービス活動を円滑に進めるために課題を共有し、利用者状況報告やケース別活動報告をし、情報の共有をしてきました。

③成果と今後の課題

利用会員143名（15名増） 協力会員54名（8名減）が登録してくれ賛助会員70名に協力していただきました。

頻りに利用していた会員がお亡くなりになったり、入院や施設入所になったため、利用件数435件（前年度691件）と減少しましたが、今後は最近利用していない利用会員に見守りも兼ねて再度連絡をとっていきます。

(11) 生活支援体制整備事業

①研究会

	開催日	場所	内 容
1	4月20日	苧田町役場	要綱・協議体メンバーについて
2	5月20日	苧田町役場	要綱・協議体メンバー・スケジュールについて
3	6月22日	苧田町役場	要綱・協議体メンバーの決定・今年度の動きについて
4	7月25日	苧田町役場	要綱・協議体メンバー再考・啓発活動について
5	8月26日	苧田町役場	啓発事業日程・他市町村の進捗状況・達成内容について
6	9月20日	社協応接室	整備内容について
7	10月21日	苧田町役場	研修会・フォーラム・生活支援コーディネーターについて
8	11月27日	苧田町役場	研修会・フォーラム・生活支援コーディネーターについて
9	12月22日	苧田町役場	支えあいフォーラム・当日の進行について
10	1月26日	苧田町役場	支えあいフォーラムふり返り・勉強会について
11	2月 3日	苧田町役場	勉強会・平成29年度の取組みについて
12	3月27日	苧田町役場	勉強会ふり返り・平成29年度の取組みについて

②助け合える地域づくり学習会

	開催日	場 所	人数	内 容
1	11月16日	三原文化会館	58	講演『支え・合いのまちづくり』3つのポイント 講師：ご近所福祉クリエイター 酒井保さん
2	11月17日	苧田町役場	25	講演『生活支援体制整備事業に向けての地域との協働』 講師：ご近所福祉クリエイター 酒井保さん

③苧田町支え合いフォーラム

開催日	場 所	人数	内 容
1月22日	パングープラザ	177	<p>①基調講演『支え合いの町づくり』 講師：福岡県立大学 准教授 村山浩一郎さん</p> <p>②報告『高齢社会における苧田町の現状と課題』 報告者：苧田町地域福祉課</p> <p>③パネルディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有償サービスについて ：住民参加型有償サービス「虹の会」</li> <li>・認知症カフェについて ：介護を考える会「なの花」</li> <li>・見守りに関して ：「長畑区小地域福祉活動」</li> <li>・居場所作りについて ：有償ボランティア「ミモザの会」</li> </ul>



④支え合いの地域づくり勉強会

	開催日	場 所	人数	内 容
1	1月30日	パンジープラザ	29	講話「これからの地域づくりのあり方について」 講師：ご近所福祉クリエイター 酒井保さん
2	1月31日	小波瀬コミュニティー	48	講話「これからの地域づくりのあり方について」 講師：ご近所福祉クリエイター 酒井保さん
3	2月2日	西部公民館	24	講話「これからの地域づくりのあり方について」 講師：ご近所福祉クリエイター 酒井保さん
4	2月27日	パンジープラザ	22	講話「地域が元気になる協議体をつくる」 講師：ご近所福祉クリエイター 酒井保さん
5	2月28日	小波瀬コミュニティー	57	講話「地域が元気になる協議体をつくる」 講師：ご近所福祉クリエイター 酒井保さん
6	3月2日	西部公民館	22	講話「地域が元気になる協議体をつくる」 講師：ご近所福祉クリエイター 酒井保さん

⑤行政区ごとのアセスメントの実施

小地域福祉活動推進地区	30地区
-------------	------

(12) 福祉に関する総合相談窓口設置検討会議

	開催日	場所	内 容
1	6月15日	苅田町役場	総合相談窓口の概要・総合相談における現状と課題
2	7月15日	苅田町役場	先進地の事例・アンケートの集約結果
3	8月19日	社協会議室	苅田町総合相談システム（案）について
4	10月7日	三原文化会館	苅田町総合相談システム（案）について
5	11月4日	苅田町役場	新苅田町の総合相談システムについて
6	1月20日	三原文化会館	エリア・補助金・今後のスケジュールについて
7	2月24日	三原文化会館	総合相談システム・補助金について

(13) 熊本地震における災害ボランティアセンター応援

6月7日	西原村災害ボランティアセンター	大波多
6月10日	〃	川原
6月26日・27日	南阿蘇村	〃
7月5日～9日	益城町	〃
7月21日～25日	〃	福山
7月21日～25日	〃	林（ま）
8月20日～21日	南阿蘇村	〃
		林（辰）

## 2. ボランティアセンター

ボランティアグループの活動が円滑に進むよう、活動支援に重点を置き、問題を把握するために積極的に関わりました。また、ボランティアの活動者不足の解消のために養成講座の開催やボランティアセンターの情報提供に力を入れました。

### (1) ボランティアセンター活動のPR

社協だより「手をつなごう」やホームページ、社協事務室横のボードにチラシを掲示し、ボランティアの募集や講座のお知らせなど、情報を発信することを心がけました。

### (2) ボランティアグループの活動

	グループ名	定例会
1	荻田町ボランティア 連絡協議会	第1月曜 14:00～
2	ハンディキャブ	第1火曜 13:00～
3	すみれ会 (ボラ連)	第1金曜
4	荻田朗読会 (ボラ連)	毎月2回
5	荻田点訳会 (ボラ連)	毎月2回
6	かんだ手話の会 (ボラ連)	毎週金曜 昼10:00～ 夜19:30～
7	GOGOクラブ (ボラ連)	第1木曜 10:00～
8	スマイルクラブ (ボラ連)	第1水曜 10:00～
9	手話サークル ひまわり	毎週木曜 10:00～
10	缶・カンクラブ	第4土曜 9:30～
11	たんぼぼ	第1火曜 10:00～
12	チーム愛	第2火曜 13:30～

	グループ名	定例会
13	傾聴ボランティア らびっと	第3火曜 10:00～
14	かんだ防災士グループ	随時
15	託児ボランティア くれよん	第1月曜 10:00～
16	傾聴アイリス	第1水曜 13:00～
17	かんだ健康隊	第4木曜 9:30～
18	わすれな草の会	第2火曜 10:00～
19	ハッピーハンド	第2月曜 15:00～
20	一木会	第1木曜 9:00～
21	認知症予防グループ はなみずき	第1.3木曜 11:30～
22	お手玉の会 し合わせ	随時
23	子育てママ支援隊 「にじいろ」	毎月1回
24	傾聴ボランティア「ほほえみ」	第4水曜 15:00～

### (3) ニーズ別ボランティアの養成

講座名	期 日	場 所	受講者数	継続・登録
手話奉仕員養成講座	4月12日～3月7日 (全45回)	パンジープラザ	15名	8名
セラピューティック・ケア によるボランティア養成 講座	7月 4日	パンジープラザ	6名	6名

(4) ボランティアニーズの把握

ボランティアグループとの懇談会を行い、グループの抱えている問題やニーズの把握に努めました。

(5) コーディネート機能の強化

①ボランティアフォローアップ研修

期日	場所	参加者	内 容
1月17日	パンジープラザ	38名	・講演「熊本地震から見えた災害時に必要とされた『ボランティアの力』とは」 講師 一般社団法人九州労災パートナーズ 藤沢 健児 氏

②夏休みふくし体験学習

期日	場所	参加者	内 容
8月8日	・パンジープラザ	15名	防災クッキング
8月9日	・福岡防災センター		地震体験・火災体験・消火体験・強風体験
8月10日	・パンジープラザ		災害ボランティアセンター体験

(6) コーディネートの実績

ボランティアと活動先と連絡を取り、スムーズな活動が行えるよう努めました。また、活動先と直接連絡を取り合う関係ができたボランティアもあります。

活動依頼別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
託児	件数	5	6	9	5	5	9	7	8	3	1	4	2	64
	人数	10	14	40	16	10	34	54	52	18	12	12	8	280
個人 (調髪等)	件数				1					1	1			3
	人数				1					1	1			3
施設	件数		1			1	1	3	3	1	1	2		13
	人数		1			10	8	26	7	5	5	8		70
団体	件数										1			1
	人数										1			1
小地域	件数							1		1				2
	人数							2		1				3
計	件数	5	7	9	6	6	10	11	11	6	6	6	2	85
	人数	10	23	40	17	20	42	82	59	25	19	20	8	365

(7) 福祉教育推進校活動の推進

福岡県社会福祉協議会の「共助社会づくり推進のための市町村社協モデル指定事業」の指定2年目を受けて、疑似体験だけでなく交流や振り返りを行う内容を検討しました。

学校名	学年	人数	実施月	内容
荏田工業 高校	全学 年	473名	9月	『ボランティア講座』講話 パラリンピック出場 車いすテニス選手 川野 将太さん
荏田中学校	1年	160名	11月	『高齢者にやさしい町づくり』 ・パネルディスカッション ・認知症サポーター養成講座 ・介護施設体験 ・啓発ポスター作成 等
新津中学校	1年	157名	10月	『福祉体験学習』講話 ・認知症、高齢者 ・視覚障がい（点字） ・聴覚障がい（手話） ・車いす
荏田小学校	4年	104名	6月～7月	『視覚障がい』 ・視覚障がい者講話 ・アイマスク体験
馬場小学校	4年	42名	9月	『車いす、視覚障がい、認知症高齢者、点 字、聴覚障がい』 ・車いす生活者講話 ・車いす体験 ・視覚障がい者講話 ・認知症高齢者について講話 ・高齢者疑似体験 ・点字体験 ・聴覚障がい者講話 ・手話体験
南原小学校	4年	64名	6月	『視覚障がい、車いす』 ・視覚障がい者講話 ・アイマスク体験 ・車いす生活者講話 ・車いす体験
与原小学校	4年	108名	6月	『視覚障がい、車いす』 ・視覚障がい者講話 ・アイマスク体験 ・車いす生活者講話 ・車いす体験
片島小学校	4年	7名	2月	『視覚障がい、車いす』

	5年	7名		<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚障がい者講話</li> <li>・アイマスク体験</li> <li>・車いす生活者講話</li> <li>・車いす体験</li> </ul>
白川小学校	4年	8名	11月	<b>『視覚障がい、車いす、ユニバーサルデザイン』</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚障がい者講話</li> <li>・アイマスク体験</li> <li>・車いす生活者講話</li> <li>・車いす体験</li> <li>・ユニバーサルデザインについて講話</li> </ul>

#### (8) 福祉教育推進校研修会

福祉教育推進校活動の充実を図るため、研修や連絡会を実施しました。

事業名	内 容
福祉教育セミナー	8月9日 講話：「障害者差別解消法と福祉教育」 講師：佐藤正昭氏（YIC 看護福祉専門学校）
福祉教育サポートボランティア連絡会	9月 2学期の連絡事項 アイマスク体験における誘導、車いすの使い方
荻田町社会福祉大会	福祉体験学習の作文表彰、発表
福祉教育推進校連絡会	3月21日 教育委員会、荻田町内7校出席 28年度活動報告、情報交換 29年度の福祉教育の取組みについて 事務手続きの説明

### 3. あんしんセンター活動

あんしんセンターでは、他機関と連携し高齢者や障害者の権利擁護に関わる相談を受け付けました。また、相続の相談が増えている事から終活セミナーの開催と成年後見制度研修会を開催しました。

#### (1) 日常生活自立支援事業の充実

契 約 件 数					援 助 回 数	相 談 ・ 問 合 せ 件 数
	認知症	知的障害	精神障害	その他		
件数	1	2	1	2	6	

解 約 件 数					2 5 3	2 8
	認知症	知的障害	精神障害	その他	合計	
件数	0	1	1	0	2	

(2) 成年後見制度の利用支援

関係機関からの成年後見制度の相談は増加傾向にあります。また法人後見を受任する上で家庭裁判所との連携がかかせないことから成年後見関係機関連絡会を開催しました。

法人後見受任 10件 (内 新規受任1件)

苅田町司法・福祉多職種連絡会

出席者：弁護士、司法書士、社会福祉士、包括支援センター、社協職員

内 容：事例検討等

4月19日 17人、6月21日 10人、8月16日 20人、10月25日 11人

12月20日 12人、2月21日 14人

成年後見関係機関連絡会

出席者：福岡家庭裁判所行橋支部、古賀弁護士、久篠司法書士、地域福祉課、包括支援センター  
社協職員

内 容：家庭裁判所の現状、成年後見の申立について等。

人 数：13人

終活セミナー

5月16日～6月20日 (毎週1回) 全6回

人数：32人

(3) 障害者相談支援事業

サービス利用計画を作成するだけでなく、サービスを利用しない障害者の相談にも対応しました。また、京都郡だけでなく京築地区への研修会にも参加し職員の資質向上にも努めました、

相談件数

	福祉サービス	医療・疾病	情緒安定	就労相談	その他	合計
件数	398	158	36	9	160	761

サービス利用計画作成 67件

(4) 福祉情報の提供

- ・社協だより「手をつなごう」の発行 毎月10日 年11回発行全世帯配布
- ・ホームページ、フェイスブックの更新

(5) 福祉に関する相談窓口の充実

項目	開設日	利用者数	相談援助件数
法律相談	12日	74人	74件
心配ごと相談	48日	14人	13件
介護ホッと相談	12日	1人	1件
遺産・相続・多重債務相談	6日	11人	11件

#### 4. 理事会、評議員会、委員会

(1) 理事会

期日	場所	人数	議題
4月 1日	天 龍	11名	会長の選任 副会長の選任 会長・副会長の職務代理者の選任
5月25日	パンジープラザ	11名	平成27年度荏田町社協事業報告 平成27年度荏田町社協会計決算 平成28年度荏田町社協補正予算 評議員の選任
10月31日	パンジープラザ	12名	定款の変更 生活支援体制整備事業の受託 平成28年度荏田町社協補正予算(第2号)
12月 8日	パンジープラザ	12名	定款の変更 評議員選任・解任委員会運営細則の制定 平成28年度荏田町社協補正予算(第3号)
1月26日	パンジープラザ	11名	評議員選任・解任委員会委員の選任 役員・評議員選任規程の改正と評議員選出母体候補

3月28日	パンジープラザ	10名	平成28年度苧田町社協補正予算(第4号) 平成29年度苧田町社協事業計画 平成29年度苧田町社協予算 評議員選任候補者の推薦 就業規則の全面改正 経理規程の一部改正 会員規程の制定
-------	---------	-----	--

(2) 評議員会

期日	場所	出席者	議題
5月25日	パンジープラザ	22名	平成27年度事業報告 平成27年度社協会計決算 平成28年度補正予算(第1号) 監査報告 監事の選任
10月31日	パンジープラザ	25名	定款の変更 生活支援体制整備事業の受託 社協会計補正予算(第2号)
12月8日	パンジープラザ	25名	定款の変更 平成27年度社協会計補正予算(第3号)
3月29日	パンジープラザ	20名	平成28年度補正予算(第3号) 平成29年度事業計画 平成29年度予算 会員規程の制定

(3) 第5回苧田町社会福祉大会実行委員会

期日	場所	参加者	内容
4月22日	パンジープラザ	4名	検討事項 大会日時 大会の内容 予算 スケジュール



6月24日	パンジープラザ	3名	経過報告 検討事項 共催・後援・来賓 オープニング 表彰・発表 講演
8月26日	パンジープラザ	4名	後援について 来賓について 表彰について 福祉教育児童生徒作文表彰・発表について
10月28日	パンジープラザ	2名	経過報告 検討事項 当日の流れ 役割分担 レイアウト
月日	パンジープラザ	23名	リハーサル

#### 第5回苧田町社会福祉大会

開催日 11月8日(火)

場 所 パンジープラザ 集団健診指導室

参加人数 約197名

内 容 1部 表彰式

2部 寸劇「水戸黄門」：小波瀬区小地域福祉活動

「キッチン用品演奏会」：長畑区有志・苧田町ボランティア連絡協議会

3部 講演「生きてさえいればいつか笑える日が来る」

講師 NPO法人抱樸「生笑一座」

#### (4) 財政基盤強化委員会

期日	場所	出席者	議題
6月19日	パンジープラザ	8名	報告 法人会員増大の取り組み 具体的な活動（七社会の商工会議所交渉）
9月18日	パンジープラザ	8名	法人・個人会員拡大の取り組み 県共募より県内の取り組み紹介
2月19日	パンジープラザ	7名	H27取り組みのまとめ ・ふくしのまちづくり会員拡大の取り組み ・その他（自販機・レストン・くすの木 バザー・葬祭）取り組み

(5) 地域福祉委員会

期日	場所	出席者	議題
5月18日	パンジープラザ	4名	夢の木及びLAPANの収支 SOSネットワーク活動 生活支援体制整備事業
9月20日	パンジープラザ	4名	新規採用職員及び業務分担 夢の木及びLAPANの収支 社会福祉法人改革 社会福祉法人連絡会 生活支援体制整備事業
1月19日	パンジープラザ	3名	評議員選任・解任委員会の委員選任 役員・評議員選任規程の改正と評議員候補者 社会福祉充実残額の算定 夢の木及びLAPANの収支

(6) 定款変更に関する検討委員会

期日	場所	出席者	議題
11月28日	パンジープラザ	5名	定款新旧対照表 新定款案検討

(7) 第1回評議員選任・解任委員会

期日	場所	出席者	議題
3月29日	パンジープラザ	5名	評議員の選任

5. 生活福祉資金など貸付事業

■生活福祉資金

種類	申請件数	申請金額	決定件数	決定金額
総合支援資金	1件	803,200円	1件	689,200円
緊急小口資金	13件	1,080,000円	12件	980,000円
教育支援資金	0件	0円	0件	0円
計	14件	1,883,200円	13件	1,669,200円

## ■ 当会貸付

種類	件数	金額
緊急小口	1 件	2,000 円

## ■ 食糧支援

金銭での貸付を極力少なくして、食糧支援を実施しております。

25 件 (1,000 円～2,000 円分)

## 6. 自主財源の確保

### (1) 収益事業

自動販売機設置事業は例年並みでした。社協まごころ葬祭は昨年度を下回りました。

販売事業は昨年度を下回りました。

### (2) ふくしのまちづくり会員

実績は昨年度を例年並みでした。

### (3) 赤い羽根共同募金運動

募金実績は昨年度を若干上回りました。

・戸別募金 3,938,800 円      ・法人、団体、個人 1,488,145 円

・街頭募金 52,988 円      ・募金箱(含学校募金) 210,732 円

・その他の募金 268,776 円      ・歳末助け合い 803,880 円

### (4) チャリティイベント

#### ・チャリティゴルフ

10月30日 勝山御所カントリークラブ 47名参加

112,290円寄付

#### ・チャリティカラオケ

11月20日 中央公民館 出場者99組

共同募金会へ 140,554円

## 7. 研 修

社協活動の活性化のためには職員の資質の向上は必須のことであり、外部研修や組織内研修を実施しました。

### (外部研修)

期 日	場 所	研 修 名	内 容	参加者
5月17日	福岡市	子どもの居場所づくりと学習支援研究会	子ども支援オフィス事業説明他	古賀
5月27日他5日間	福岡市	認知症介護実践者研修	認知症ケアの基本的視点と理念・認知症の人の権利擁護他	大山

6月2日	北九州市	指定居宅介護支援事業所集団 指導		増田・川瀬・ 佐野
6月14日	大野城市	感染症予防研修	施設における感染症対策他	岩田
6月26日他7 日間	北九州市	介護支援専門員更新研修	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの 現状	川瀬
6月30日	春日市	市町村社協会長・事務局長会 議	社会福祉法人制度改革と社協が対応するべ き事項について	会長 福山
7月8日	北九州市	成年被後見人の意思決定支援 に関する研修	成年後見人に対する意思決定支援について	湯屋
7月13日他4 日間	北九州市	相談支援従事者初任者研修	面接技術他	古賀
7月13日14 日	北九州市	相談支援従事者初任者研修	障害者総合支援法の概要他	古賀
7月15日	福岡市	パワーアップフォーラム	障害のある人のディーセントワーク他	岩田
7月22日	福智町	視察研修	生活支援体制整備事業について	会長・福山・ 古賀
8月2日	春日市	労務管理研修	社会福祉法人労務管理研修	会長 福山
8月25日	福岡市	視察研修	フリースペース	林(辰)
9月1日	春日市	市町村社協職員研修	プレゼンテーションについて	古賀・林(辰)
9月14日・15 日	福岡市	災害ボランティアセンター運 営者研修	運営者に求められる力他	林(辰)
9月26日・27 日	宗像市	会長・事務局長研修会	地域共生社会の実現に向けた社会福祉協議 会の役割 他	林会長・福山
9月26日・27 日	春日市	福祉職員キャリアパス対応生 涯研修課程管理者研修	キャリアデザインとセルフマネジメント	立山
10月3日	福岡市	日常生活自立支援事業専門員 研修	事例検討会の必要性を考える	川原
10月7日他2 日間	春日市	福祉用具・住宅改修研修	身体状況に応じた福祉用具活用法	佐野
10月8日	北九州市	小児慢性特定疾病児童等自立 支援事業	I型糖尿病に対する理解を深めるために他	湯屋
10月9日	春日市	福祉職員キャリアパス対応生 涯研修	チームリーダー研修	福田

10月21日・22日・24日	福岡市	相談支援従事者現任研修	課題分析から協議会活用まで	森山
10月29日	嘉麻市	筑豊ブロック市町村社協連絡協議会役職員研修	地域における総合相談の推進とコミュニティソーシャルワーカー	会長・福山・古賀
10月30日他4日間	北九州市	介護支援専門員更新研修	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開他	川瀬
11月1日	北九州市	福岡県法律相談合同研修会	高齢者の法律問題（成年後見と相続）他	高村 川原
11月2日	行橋市	技術研修Ⅱ	チームコミュニケーション他	亀山
11月7日	北九州市	法テラス地方協議会	利用者と法テラスについて他	湯屋
11月13日	北九州市	認知症対応力向上研修	認知症の定義他	増田・川瀬・佐野
11月21日	福岡市	高齢者・障害者総合支援センター「あいゆう」研修会	認知症や障がいのある人の意思決定支援を支える仕組みと実践手法を考える他	湯屋
11月22日	桂川町	有償サービス視察研修	たすけあい桂川について	林（辰）
11月25日	大野城市	感染症予防研修	冬に流行する感染症予防対策他	岩田
11月30日	福岡市	社会福祉法人制度対応セミナー	社会福祉法改正への対応と実践他	会長 福山
11月30日	福岡市	福岡県相談支援従事者現任研修	障害者の動向他	岩田
12月1日	北九州市	改正社会福祉対応実践セミナー	定款例と変更手続きの留意点他	福山
12月1日	宗像市	地域包括ケアシステム勉強会	新地域支援体制整備事業について	繁永
12月5日	福岡市	福岡県における災害支援体制を考える研修会	災害ボランティアセンター運営支援他	古賀
12月11日	福岡市	介護支援専門員協会研究大会	2018年に向けた介護保険制度の動向	増田 増田

12月14日	行橋市	介護職員技術向上研修	チームコミュニケーション他	尾形
12月14日	福岡市	相談支援従事者現任研修	障害者ケアマネジメントの実践 演習の目的他	岩田
12月15日	北九州市	安全運転管理者講習会		林(ま)
12月16日	福岡市	社会福祉法人制度改革の施行に向けた説明会	社会福祉法人制度改革について	福山
1月6日	嘉麻市	協議体についての勉強会	勉強会の振り返り他	繁永
1月31日	春日市	福祉教育プログラム集を活用した福祉教育説明会 福祉教育セミナー	「ともに生きる」の校正と各単元における活用方法について	川原
2月3日	嘉麻市	協議体についての勉強会	勉強会の振り返り他	繁永
2月26日	行橋市	京都市行橋地区進路保障研究協議会就学支援学習会	経済的な理由で子どもたちに進学を断念させないため	田中
2月23日	福岡市	みんなが主役の元気な地域づくりセミナー	これからの地域づくり～住民同士の助け合い活動に求められること	川原 中野
3月1日	福岡市	障害者福祉サービス事業所直接処遇職員研修	障害者虐待防止について	福田
3月3日	嘉麻市	勉強会についての勉強会	介護予防・日常生活総合事業について説明他	繁永
3月4日・5日	大野城	全国ボランティアコーディネーター研究集会	変わりつつある学校との協働の「これから」	川原 林(ま)
3月7日	春日市	施設長・職員研究会	社会就労施設に求められる防犯について他	平川
3月8日	嘉麻市	コミュニティワーカー研修会	相談援助の記録について他	古賀 繁永
3月8日	田川市	福岡支部県北ブロック学習会	主要な精神障害(疾患)について	岩田・長野・ 米倉・平川・ 長野

3月9日	北九州市	実務研修における実習指導者研修会	実務研修における実習の位置づけ他	増田
3月10日	北九州市	相談面接技術に関する研修会	解決構築の面接技法からまなぶ他	増田
3月14日	春日市	社会福祉施設役職員研修	虐待防止について施設職員の立場から考える	前畑
3月15日	春日市	認知症介護基礎研修	認知症を取り巻く現状と基本理解他	川内 尾形
3月29日	北九州	コンプライアンス研修	居宅介護支援運営規程他	増田 川瀬

(事務局職員内部研修)

期 日	内 容	担 当
4月25日	社会福祉法人の地域貢献について	福山
5月31日	事例検討	森山
6月29日	子どもの貧困について	古賀
7月27日	エンディングプランについて	川原
8月29日	徘徊高齢者等SOSネットワーク活動について	大波多
9月29日	福祉教育について	林(た)
11月29日	徘徊高齢者等SOSネットワーク活動について	林(ま)
12月26日	介護保険制度法改正・報酬改定の動向	増田
1月27日	法人後見の現状と課題	湯屋
2月28日	事例検討	佐野
3月29日	地域力強化検討会について他	福山

## 8. 多機能型事業所くすの木作業所

くすの木作業所利用者の工賃倍増を目指し、生産活動の核として菓子製造販売事業に着手、27年12月より事業を始めました。

また、26年4月よりくすの木作業所従たる事業所レストラン「夢の木」をオープン。今年度、3年目を経過した。安全、安心、美味の料理を提供し地域の憩いの場所、交流の場所として多くのお客様にご利用して頂きました。

利用者の自治活動や地域との交流を大切にしていまいりました。今後も施設経営の安定化を目指して日々努力を重ねます。

### 1. 生産活動

#### ①基本的生産活動

各作業(割箸・手芸・名刺・部品加工)を班制度化し、割箸班・部品班・印刷班・手芸班 毎

月の作業量、工賃収入ともに安定の兆しが見えます。

部品加工作業において、納品日までに終わるよう班の仲間が協力し納期までに納める様になる。手芸班は「第10回くすの木作業所作品展」を実施することにより、技術が向上し、多種多様の作品を作ることが出来た。

近隣の作業所の出展協力もあり、この作品展を通して多くの地域の人々と交流することができた。今後定着化に向け日々作品作りに努力します。

荻田町より、「障害者の日」啓発物品製作依頼があり、お薬手帳を400枚を納めました。新浜祭など多くのイベントに参加することで「販売」という事の大切さと難しさを経験しました。

印刷班は名刺カラー印刷・はがき印刷・封筒印刷の作業が技術向上し、これにより工賃収入も安定した。

4月は名刺印刷、11月末からは年賀ハガキ印刷が繁盛期でした。受注から納品までのスピードアップ化に努力した。また、名刺は役場職員を中心に地元企業の取引が安定した。12月の年賀ハガキ印刷は一定の顧客確保ができました。

お茶の販売を行い、町や団体より注文があり不定期ではあるが、実績を積み重ねています。(ペットボトル500mm 100円税込)

## ②工賃強化生産活動

レストラン事業

レストランのコンセプト

- ①落ち着いた、居心地のよい雰囲気
- ②健康志向の家庭的な料理をリーズナブルな価格で提供
- ③幼児期から高齢者まで安心して、利用のできるスペース

ヤマト福祉財団「夢へのかけ橋」実践塾の指導のもと事業を行う。

工賃は、利用者に時給600円の工賃を支給した。

現在、1日3名の利用者がレストランにて従事する。

3年後の目標として、8名の利用者がレストランにて従事する。

## ③工賃倍増生産活動

菓子製造販売事業

27年12月10日、焼菓子工房「LAPAN」をオープン。

店名LAPANはフランス語のウサギを意味する。

シフォンケーキ・マドレーヌ・クッキー・エンゼルケーキの製造販売をする。

毎月の売り上げ目標50万円とした。

福岡県主催、まごころ製品グランプリに参加出店。

地域納税「さとふる」と販売契約を結び、1口3000円のエンジェルケーキ箱詰めの販売を



開始。

販売場所の新規売り場として、J A 苅田・J A 行橋・A S O U 苅田店・A S O U 行橋店・ルミエール苅田店を追加した。

現在、地域へ販売活路の拡大に取り組む。

また、期間限定、季節の商品を販売。クリスマスシフォンケーキ・エンジェルケーキ1000円パック

#### ④ボーナス支給販売活動

夏・冬の年2回、ボーナスの財源を確保する為に夏と冬物品販売（カタログ販売）を行い、利用者にボーナスを支給しました。

### 2. 職員の人材育成・資質の向上の取組み

きょうされん 全国大会の参加（熊本大会）

きょうされん福岡支部職員学習交流会に参加

県北ブロック職員学習会

県社協主催研修会の参加 4回

施設内部職員研修を実施 2回

職員会議の実施

### 3. 日常生活訓練

仲間の当番表を作成し、毎日仲間で協力し合い日中生活の役割をそれぞれの係が取り組んだ。

朝の会・帰りの会の司会と記録

昼食・お茶休憩時のお茶係と机拭き係とテレビ係

作業時の材料係

掃除のゴミ係・掃除機係・ホウキ係

施設宿泊研修（第16回仲間の旅行）の実施により家族から離れて、グループで宿泊する貴重な体験ができました。

年2回火災避難訓練を実施し、訓練をする事によりスムーズに避難をすることが出来、また防災意識もたかまった。

夕食と朝食の提供支援（一人暮らし利用者の支援）

### 4. 利用者（仲間）の活動

仲間の自治会活動は「仲間の話し合い」を毎月第1月曜日に実施し定例化した。仲間の自治会活動を定期的に実施したことにより仲間の自治に関心を持つことできた。

「仲間の活動の日」毎1回を定例化し、仲間のバスハイク・買い物・カラオケ大会・忘年会等を行う。

地域の作業所と交流することで、様々な仕事の取り組み方を学ぶことができたまた、なかまの仕事に対する意欲を向上させることができた。

他団体との交流を持つことにより、活動の場が広がり外に出るチャンスを得ました。

「仲間の旅行実行委員会」を組織し、月2回委員会をする。委員の仲間は旅行の企画を担当して、佐賀県玄海町に1泊2日の旅行を実施しました。

## きょうされん活動

きょうされん福岡支部仲間部会の活動に仲間2名参加  
仲間部会の役員会に県北ブロックの責任者として参加  
仲間の学習会実行委員会に参加し、積極的に意見交換と交流をすることができました。(クローバープラザにて開催)  
福岡支部仲間部会と福岡県の懇談会に参加し、県内の作業所の仲間たちとともに意見交換ができました。

## 県北ブロック仲間の活動

仲間の会議に参加 (仲間の交流会実行委員会)

仲間の交流会に参加

第19回仲間のふうせんバレーボール大会出場 (田川市体育館)

第24回仲間の交流会 新年会 (スコーレ若宮)

毎月1回の県北ブロック職員会議に出席し、仲間の活動の連絡調整や地域の作業所の情報交換の場所として又職員の実践交流ができました。

## 5. 地域交流活動

「第10回くすの木作業所作品展」を開催し、町民や近隣の方々と交流  
(来場者約560名)

築城特別支援学校の見学や実習生を受け入れ生徒と仲間の交流

町立中学の職場体験学習の生徒の受け入れ

毎年行っている、第16回地域交流もちつき大会を実施し、地域の皆さんと交流、お餅をたくさん食べ楽しい行事となりました。

地域での行事に参加し、地域の方にくすの木を知ってもらうことができました。

苅田町障害者スポーツレクリエーション大会の参加

ボランティア団体との交流 (行事協力)

日産自動車九州労働組合 新浜祭

日産エルダークラブ 新浜祭・地域交流もちつき大会

日産車体九州労働組合 第10回作品展

苅田町文化協会 第10回作品展

## 6. 利用者の健康管理

嘱託医師による健康相談 毎月第1木曜日

看護師による週1回のバイタルチェック

年2回春と秋の定期健診の実施

健康検査結果表の管理 結果による再検査の指導

利用者通院・服薬の記録

食後の歯磨きやうがいの実施

定期的に軽スポーツを実施 ふうせんバレーの練習

昼休みのウォーキング（希望者）

## 7. 家族の会の活動

家族懇談会を年5回開催

家族交流会の開催

夏の家族交流会 食事会 レストラン夢の木にて

冬の家族交流会 新年会 くすの木

成人を祝う会 天野さん くすの木

親の学習会の実施

家族懇談会の中で障害者総合支援法の学習会やグループホームの学習会を行いました。

作業と販売の支援

作品展の喫茶コーナーのお手伝いをさせていただきました。

## 9. 認知症対応型通所介護「在処よってけばあ」

認知症の利用者一人一人の尊厳を大切に、在宅支援と寄り添う介護を実践しています。

重点項目である、家族支援では保険外利用や相談・助言で介護負担の軽減ができています。地域交流では、在処夏祭りや、中学校・高校の職場体験の受け入れなどで利用者との交流ができています。

認知症サポーター養成講座を地域の生き生きサロンで開催、中学校の福祉学習などを通して認知症への理解につなげています。職員は、積極的に研修等に参加し、サービスの質の向上に努めています。関係機関と連絡・情報交換を密にし利用者さんにより良いサービスの提供ができています。

### 利用状況表

	生きがい	要 支 援 1	要 支 援 2	要 介 護 1	要 介 護 2	要 介 護 3	要 介 護 4	要 介 護 5	延 利 用 者 数	保 険 外 利 用 者 数	実 日 数	一 日 平 均 の 利 用 者 数	宿 泊 利 用 者 数	登 録 者 数
4月	0	8	14	48	59	13	36	0	180	17	26	6.9	0	22
5月	0	8	17	47	75	10	35	0	192	12	26	7.4	0	21
6月	0	14	13	49	79	17	36	0	210	16	26	8.1	0	22
7月	0	12	16	53	80	15	27	0	203	15	26	7.8	0	21
8月	0	11	27	62	86	0	43	0	229	15	27	8.5	0	23
9月	0	12	24	60	77	0	44	0	217	15	25	8.7	0	22
10月	0	8	27	68	93	0	41	0	237	15	26	9.1	1	24
11月	0	10	26	72	97	0	40	0	245	17	26	9.4	2	24
12月	0	8	27	76	94	0	34	0	239	18	27	9.2	1	24
1月	0	7	26	61	80	0	38	0	212	13	24	8.8	1	23

2月	0	5	21	42	66	19	32	0	185	11	24	7.7	1	22
3月	0	0	2	28	52	76	42	0	228	15	23	8.4	0	23
計	0	103	240	666	938	150	448	0	2577	179	306	8.4	16	

年間延べ利用者数 2557人、

月平均利用者数 213人

一日平均利用者数 8.4人

## 月別行事表

	項目	参加者	内容
4月	荇田町通所ケアサービス連絡会 勉強会 セラピューティック交流 傾聴ボラ 花見 業務改善会議 業務連絡会議 散髪	スタッフ1名  スタッフ9 利用者6・ボランティア4 利用者16・ボランティア6 利用者9 事務局2・スタッフ3 スタッフ1 利用者8・ボランティア1	荇田町の通所施設の会議に参加  利用者の情報交換、5月合同運動会について マッサージを行い、心の安定を図る 月2回 利用者の話を聞いて交流を図る 城南団地公園 4・5月の運営について 業務報告 利用者の無料散髪ボランティア
5月	勉強会 散髪ボラ 傾聴ボラ 業務改善会議 業務連絡会議 誕生会 セラピューティック交流 春の苑外レク	スタッフ9 利用者7・ボランティア1 利用者13・ボランティア6 事務局2・スタッフ3 スタッフ1 利用者7・スタッフ5 利用者5・ボランティア4 利用者7・ボランティア2・ スタッフ7	利用者の情報交換 利用者の無料散髪 月2回 利用者の話を聞いて交流を図る 6月の運営について 業務報告  マッサージを行い、心の安定を図る 平尾台散策、傾聴ボランティア2名参加
6月	荇田町通所ケアサービス 傾聴ボランティアと交流 セラピューティック交流 業務改善会議 勉強会 業務連絡会議 菖蒲観賞ドライブ 散髪ボラ 宅老所連絡会合同運動会  認知症サポーター養成講座	スタッフ1 利用者25・ボランティア6 利用者7・ボランティア4 事務局2・スタッフ3 スタッフ9 スタッフ1 利用者10スタッフ5 利用者5・ボラ1 利用者7・ボランティア1・ スタッフ10 スタッフ3	荇田町の通所施設の会議に参加 月2回 利用者の話を聞いて交流を図る マッサージを行い、心の安定を図る 7月の予定について 利用者の情報交換 業務報告 行橋正八幡へ行く 利用者の無料散髪6/1 まあちゃんち、おひさまの家とパンジーにて 運動会をする。 新津公民館

7月	<p>七夕会 散髪ボランティア交流 セラピューティック交流 傾聴ボランティアと交流 業務改善会議 業務連絡会議 勉強会 職員研修 認知症サポーター養成講座</p>	<p>利用者 11・スタッフ 4 利用者 6・ボランティア 1・ 利用者 7・ボランティア 5 利用者 13・ボランティア 5 事務局 2・スタッフ 3 スタッフ 1 スタッフ 8 スタッフ 1 スタッフ 2</p>	<p>七夕の行事 利用者の無料散髪 7/6 マッサージを行い、心の安定を図る 月 2回 利用者の話を聞いて交流を図る 8月の業務について、移転先について 業務報告 利用者の情報交換、8月の業務 社会福祉施設職員基礎研修 馬場地区 馬場公民館</p>
8月	<p>散髪ボランティア交流 荇田町通所ケアサービス連絡会 業務改善会議 業務連絡会議 勉強会 傾聴ボランティア 職場体験学習 誕生会 夏祭り (2日間) ソーメン流し 手作りおやつボラ</p>	<p>利用者 7・ボランティア 1 スタッフ 1  事務局 2・スタッフ 3 スタッフ 1 スタッフ 7 利用者 13・ボランティア 6 利用者 15.生徒 3 利用者 10・スタッフ 4 利用者 14・スタッフ 12 ボランティア 3名 (GOGO) 利用者 7。ボランティア 1</p>	<p>利用の方の無料散髪 荇田町の通所施設の会議に参加  9月の業務について 業務報告 利用者の情報交換、9月の業務 月 2回 利用者の話を聞いて交流を図る 新津中学校 2年生 3名(20.21日) 8月の誕生日 浴衣を着たり、盆踊りやヨーヨー釣りを楽しむ 庭でソーメン流し。 手作りおやつ、利用者との交流 (10.24日)</p>
9月	<p>マジックショー 散髪ボランティア交流 勉強会 敬老会  セラピューティック交流 マジックショー 傾聴ボランティアと交流 業務連絡会議 業務改善会議 誕生会 勉強会 認知症サポーター養成講座 手作りおやつボラ 認知症講座 職員研修 職員研修</p>	<p>利用者 8ボランティア 4 利用者 9・ボランティア 1 スタッフ 7・ 利用者 18・スタッフ 15  利用者 7・ボランティア 3 利用者 9.ボランティア 4 利用者 8・ボランティア 6 スタッフ 1 スタッフ 3・事務局 2 利用者 10・スタッフ 4 スタッフ 9名 スタッフ 2 利用者 7。ボランティア 1 スタッフ 1 スタッフ 1 スタッフ 1</p>	<p>敬老会のボランティア 利用の方の無料散髪 利用者の情報交換・在処祭りの日程について スタッフの出し物・記念品贈答 (ぼんつく饅頭) マッサージを行い、心の安定を図る 敬老会のボランティア 月 2回 利用者の話を聞いて交流を図る 業務報告 10月の業務について 9月の誕生日 業務連絡、利用者の情報交換、在処まつり 城南生き生きサロン 9/28 手作りおやつ、利用者との交流 脳活性化の話・レク(尾倉公民館) 福祉職員キャリアパス対応管理職員コース (9/8.9 クローバープラザ) 葛城 介護職員技術向上研修Ⅱ 大山</p>

10月	<p>業務改善会議 勉強会 苅田町通所ケアサービス連絡会 傾聴ボランティアと交流 業務連絡会議 誕生会 セラピューティック交流 職員研修 福祉学習（苅田中・新津中 手作りおやつボラ レクレーションボラ</p>	<p>事務局 2・スタッフ 3 スタッフ 11 スタッフ 1 利用者 16・ボランティア 6・ スタッフ 1 利用者 10・スタッフ 4 利用者 7・ボランティア 2 スタッフ 1 スタッフ 2 利用者 7。ボランティア 1 利用者 7・ボランティア 2</p>	<p>業務内容 利用者の情報交換、11月の業務、在処祭り 苅田町の通所施設の会議に参加 月2回 利用者の話を聞いて交流を図る 業務報告  マッサージを行い、心の安定を図る 介護職員技術向上研修 I 認知症サポータ講座（10/2.28） 手作りおやつ、利用者との交流 利用者交流</p>
11月	<p>散髪ボランティア交流 傾聴ボランティアと交流 在処まつり  セラピューティック 業務連絡会議 業務改善会議 レクレーションボラ 手作りおやつボラ 勉強会 福祉体験学習 苅田町社会福祉大会</p>	<p>利用者 8・ボランティア 1 利用者 20・ボランティア 6 スタッフ 11ボランティア 6 苅田工業生徒 4名先生 1 利用者 9.ボランティア 3 スタッフ 1  ボランティア 2 ボランティア 1 スタッフ 10 利用者 10.生徒 3 スタッフ 2</p>	<p>利用者の無料散髪 月2回 利用者の話を聞いて交流を図る 11/8 開催 100名来客 足湯のボランティア マッサージを行い、心の安定を図る 業務報告 12月の業務について 利用者との交流 手作りおやつ、利用者との交流 利用者の情報交換・在処まつりの反省会 苅田中学校1年生 認知症啓発劇（葛城・西本）</p>
12月	<p>散髪ボランティア交流 業務改善会議 勉強会 業務連絡会 もちつき・忘年会 セラピューティック ハーモニカボランティア 傾聴ボランティア 月曜日ボランティア レクレーションボラ 手作りおやつボラ 苅田工業インターシップ</p>	<p>利用者 10・ボランティア 1 事務局 2・スタッフ 3 スタッフ 10 スタッフ 1 利用者 8・スタッフ 10 利用者 7・ボランティア 4 利用者 10・ボランティア 7 利用者 22・ボランティア 5 利用者 10・ボランティア 1 利用者 10.ボランティア 2 利用者 11.ボランティア 1 利用者 19生徒 4</p>	<p>利用者の無料散髪 利用者の状態報告、 利用者の情報交換 業務報告 昼食バイキング形式・忘年会（カラオケ大会） マッサージを行い、心の安定を図る ハーモニーハートの演奏会 月2回 利用者の話を聞いて交流を図る 手作りおやつ持参・利用者との交流（2回） 利用者との交流 手作りおやつ・利用者との交流 職場体験 12/1.・2</p>

1月	初詣 セラピューティック 業務改善会議 業務連絡会議 傾聴ボランティアと交流 誕生会 月曜日ボランティア レクレーションボラ 手作りおやつ	利用者 13・スタッフ 5 利用者 7・ボランティア 2・ 事務局 2・スタッフ 3 スタッフ 1 利用者 23・ボランティア 6 利用者 7・スタッフ 4 利用者 12・ボランティア 1 利用者 7.ボランティア 2 利用者 7.ボランティア 1	宇原神社に参拝 マッサージを行い、心の安定を図る 2月の業務について 業務報告 月2回 利用者の話を聞いて交流を図る 1月の誕生会 手作りおやつ持参・利用者と交流（2回） 利用者と交流 手作りおやつ。利用者と交流
2月	節分まつり 散髪ボランティア交流 業務改善会議 業務連絡会議 勉強会 傾聴ボランティアと交流 セラピューティック 誕生会 レクレーションボラ 手作りおやつ	利用者 11・スタッフ 5 利用者 8・ボランティア 1 事務局 2・スタッフ 3 スタッフ 1 スタッフ 10 利用者 22・ボランティア 5 利用者 8.ボランティア 3 利用者 7・スタッフ 3 利用者 8.ボランティア 2 利用者 10.ボランティア 1	豆まき 利用の方の無料散髪 平成 27 年度の運営について 3月の業務について・新年度について 業務報告 月2回 利用者の話を聞いて交流を図る マッサージを行い、心の安定を図る 2月の誕生会 利用者と交流 手作りおやつ。利用者と交流
3月	おひな祭り 散髪ボランティア交流 荻田町通所ケアサービス連 絡会 セラピューティック交流 傾聴ボランティアと交流 業務改善会議 勉強会 業務連絡会議 手作りおやつ 認知症講座	利用者 9・スタッフ 4 利用者 11・ボランティ 1 スタッフ 1 利用者 7・ボランティア 3 利用者 20・ボランティア 6 事務局 2・スタッフ 2 スタッフ 8 スタッフ 1 利用者 8.ボランティア 2 スタッフ 1	おひな様お内裏様になり写真撮影 利用者の無料散髪 荻田町の通所施設の会議に参加 マッサージを行い、心の安定を図る 月2回 利用者の話を聞いて交流を図る 平成 27 年度の運営について情報交換 利用者の情報交換 業務報告、平成 27 年度の行事予定報告 利用者と交流 傾聴ボラの研修、認知症の接し方について

## 10. ケアプランサービス

介護を必要とする状態になっても自立した在宅生活を送り、人生の最後まで人間として尊厳を全うできるような社会支援の仕組みの確立を目指しています。介護支援サービス機能を担う介護支援専門員は制度運用の要として極めて重要な役割を担っています。適性かつ効果的な介護サービスを提供していく為に介護支援専門員の資質向上を目指していきます。

### (1) ケアプランサービスの質的向上と数の維持を図りました。

#### ① ケアプランサービスの資質向上

介護支援専門員の資質向上に努め、信頼を得られる居宅介護支援事業所を目指しました。

#### ② 社協内各担当者との連携

事業所内他職員と連携を図り、地域のニーズを把握し必要に応じた支援を行いました。

#### ③ 社協広報誌手をつなごうへ広告を掲載しました。

#### ④ 地域サロンなどに出向き、事業所の業務内容・特徴を地域住民に伝えました。

#### ⑤ 地域に暮らす要援護者の情報を収集し、介護保険申請などの支援を行いました。

#### ⑥ 書類作成の効率化・ケアプランサービスの質的向上を図りました。

### (2) 自立支援を目標に適切なケアプランの作成と必要書類の記録・保管を適切に行いました。

#### ① 介護保険制度の要としての専門性

アセスメント 課題分析をした上で本人 家族の希望を聴視し、専門的な立場から介護保険制度の理解促進を図りました。

#### ② 適正化に向けた取り組み

関係書類の記録と内容の充実を図りました。

#### ③ 情報の共有

定期訪問及び関係機関との連絡を密に取りながら、各必要書類の作成 担当者会議開催を適時行いました。

検討する課題について共有した情報をもとに評価しました。

### (3) 特定事業所加算Ⅲの継続的算定を行いませんでした。

#### ① 毎週定例会議を開催しました。

#### ② 24時間連絡体制を確保しました。

#### ③ 運営基準減算・特定事業所集中減算の非適用を継続（中立・公正の確保）しました。

#### ④ 介護支援専門員1人あたりの担当者数40件（要介護35件）未満でした。

#### ⑤ 計画的に研修を実施しました。



- ⑥ 地域包括支援センターから支援困難事例の紹介があった際の居宅介護支援の提供を行いました。
- ⑦ 法定研修等における実習受入事業所となるなど人材育成への協力体制を整備しました。

#### (4) 職員の資質向上を図りました。

##### ① 研修会参加

介護支援専門員の資質向上の為に積極的に研修会に参加しました。

##### ② 定例会議 学習会 事例検討会開催

自己研鑽を図り適正なケアマネジメントができるように努めました。

ケアマネ連絡協議会での学習会（情報交換・研修会・事例研究・保険者との情報交換）に参加しました。

社協主催研修会（認知症学習会・福祉教育等）に参加しました。

人権擁護に関する学習会に参加しました。

京築社会福祉協議会連絡会にて、介護支援専門員の定期的な学習会に参加しました。